



Nagasaki Peace Volunteer 2024

青少年ピースボランティア育成事業
令和 6 年度 活動報告書

主催：長崎市



受託：(公財)長崎平和推進協会



青少年ピースボランティアは 長崎の被爆の実相や平和の大切さを学び 平和を発信するボランティアです。

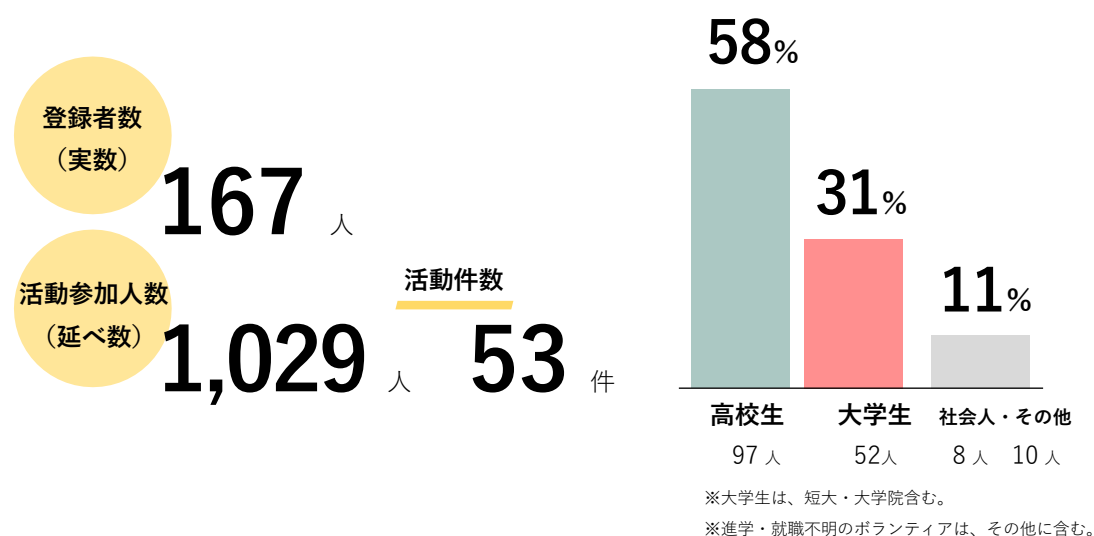
青少年ピースボランティア育成事業は、長崎市が平成14年度から15歳(中学校卒業)以上30歳未満の青少年を対象に実施しています。

青少年が被爆の実相や戦争について学び、様々な視点から平和について考え、行動することにより被爆体験の継承と平和意識の高揚を図ることを目的としています。

なお、令和元年度より、長崎市から委託を受け（公財）長崎平和推進協会が実施しています。

■令和6年度登録者：167人（令和7年3月現在）

【内訳】高校生：97人 大学生（短大・大学院含む）：52人 社会人：8人 その他：10人
※進学・就職について不明のボランティアについては、その他としています。



■活動内容

毎月の学習会や毎年8月8日・9日に実施するイベント「青少年ピースフォーラム」の企画・準備、司会進行や、長崎市内の学校などへの出前講座などを行っています。

その他、平和関連イベントへの参加や講座の聴講、自主企画活動、県外研修なども実施。

今年度は、県外研修のうち1つをボランティア自身が企画し、コース選定にも携わりました。

また、学習会やミーティングは可能な限りオンライン併用で実施しているため、県外に住むメンバーもたくさん参加してくれました。進学・就職などで環境が変わっても、長く活動を続けてくれるメンバーが増えています。

詳細は「令和6年度 活動実績」（p.13）参照。

年間スケジュール（通常）

学ぶ



考える



発信する



交流する



深める



4 月

オリエンテーション

被爆体験講話

5 月

長崎原爆資料館見学

被爆建造物等フィールドワーク

6 月

青少年ピースフォーラム 準備開始

意見交換

7 月

フィールドワークガイド実践

学校等への出前講座

8 月

青少年ピースフォーラム … p.7

平和祈念式典ボランティア

9 月

平和学習発表会のサポート

10月

平和関連イベントでボランティア

市民大行進への参加・サポート

11月

他団体・他地域との交流

ピースボランティア自主企画

12月

核・原爆・戦争などについての講座

学習会・イベント

1 月

県外研修 ①福岡・鹿児島 … p.9

2 月

県外研修 ②沖縄 … p.11

3 月

1年間の振り返り・新年度準備

県外研修報告

ボランティア説明会。前年度からミーティングを重ね、内容を考えました。



被爆体験講話

8歳で被爆した山川剛さんの講話を聴講。被爆体験だけでなく、戦時中の教育や戦後のことも教えていただき、未来へのメッセージもいただきました。



フィールドワーク

平和案内人のガイドで平和公園/浦上天主堂/山王神社の3コースにわかれて学習。夏には自分たちでガイドできるよう、真剣に学びます。

SPRING 春

オリエンテーション 長崎原爆についての学習

4月にはボランティア説明会を開催し、新しいメンバーと共に新年度のスタートを切りました。

5月からは長崎原爆についての学習を開始。原爆資料館の見学や被爆体験講話の聴講、被爆建造物等のフィールドワークを行い、長崎の被爆の実相について、理解を深めました。

ピースボランティア



中・高校生ピースクラブ(広島)と、北九州市ピースフィールドクラブの皆さんをお迎えし、3地域の交流会を開催しました。(p.6)



広島から樹木医さんをお呼びしての学習会を実施しました。(p.6)



出前講座の依頼も！

AUTUMN 秋

交流や出前講座 “やってみたい”を実現

夏を乗り越えた後は、他の地域と交流したり、自主企画を実現させたり、様々なことに取り組みました。

10月には、広島、北九州、長崎の3地域のボランティアで交流会。70名以上が集まりました。例年行われる市民大行進は、雨天のため中止となりましたが、出前講座の依頼やその他の活動で大忙しの秋でした。

SUMMER 夏

青少年ピースフォーラム^{p.7} に向けての企画・準備

6月からは、例年8日8日・9日に開催される「青少年ピースフォーラム」に向けての企画・準備を本格的に始めます。

司会原稿の作成やフィールドワークのガイド練習、原爆の説明や戦時下の疑似体験プログラムづくり、意見交換の企画や進行練習など多岐にわたる作業を急ピッチで進めます。

暑い中、何度もガイドの練習を重ねてフォーラム本番に臨みました。



学習会や活動日以外にも、有志で自主練習を行ったり、企画の話し合いをしたりしています。



ピースボランティア同士で、フォーラム本番と同じテーマでの意見交換を実践。

1年のハイライト

WINTER 冬

核兵器、戦争、平和 様々な視点から見つめる

今年度は、長崎～福岡～鹿児島へ行く福岡・鹿児島研修と、沖縄研修を実施しました。写真は沖縄研修・ひめゆりの塔前にて。



福岡・鹿児島研修の事前学習は、自主企画グループが担当しました。



被爆者主催の市民対象碑めぐりでの座学。様々な講義を聴講しています。

活動紹介

ピースボランティアは多岐にわたる取り組みを行っています

発信

長崎市内の中学生が一堂に会し、各校で日ごろ取り組んでいる平和学習の成果を発表しあう

「平和学習発表会」。

ピースボランティアは司会や各グループごとの進行役を務めました。



平和関連イベントでの活動

青少年ピースフォーラム(p.7)の開催をはじめ、毎年の平和祈念式典や市民大行進、日本語弁論大会など多くのイベントで活躍しています。



桜馬場中学校 出前講座



長崎特別支援学校 出前講座



広島・長崎子ども親善交歓会



長崎原爆資料館見学

学習

原爆資料館の見学や被爆体験講話の聴講はもちろん、現在の世界情勢や、戦争をより深く知るための講義なども行います。

出前講座

長崎市内の学校などへ赴き、原爆や核兵器・平和に関する出前講座を行っています。

今年度は**4件の出前講座依頼**と**1件のガイド依頼**をいただきました。

どうすれば伝わるか、何を伝えたいか、一緒に何ができるのか、ボランティア同士で話し合いながら内容を考えています。

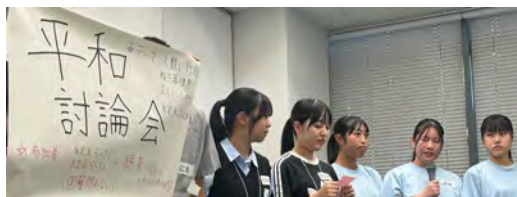
ピースアクション in ナガサキ



継承

座学だけでなく、被爆者の方々が主催する碑めぐりに一緒に参加したり、世代を越えて交流しながら、被爆地ナガサキの継承を考えていきます。





NEW

広島×北九州×長崎 交流会 in Nagasaki

広島市の中・高校生ピースクラブ、北九州市ピースフィールドクラブ（令和6年度新規発足）の長崎派遣研修にあわせて、3つの地域で平和活動に取り組むボランティア（中学生～29歳）の交流会を開催しました。

被爆80年の節目を前に、「原爆」のワードでつながる3市が地域を越えて連携しようと、面白い企画がたくさん出ていました。

交流



深化



歴史から戦争・平和を考え、深掘りしていこう！というTeam Study Historyをはじめ、ボランティアの発案でこれまでに沢山の企画が生まれています。

自主企画

昨年度の広島研修での被爆樹木めぐりをきっかけに、被爆樹木についてもっと学びたいという有志のボランティアの企画がスタートしました。

今年度は、広島で樹木医をしている堀口力氏と、被爆樹木を伝える活動も行っているANT-Hiroshimaの渡部久仁子氏と一緒に長崎の被爆樹木に“会いに行く”機会を設けました。



8 / 8 (木)・8 / 9 (金) 開催

青少年ピースフォーラム

6月～8月にかけては、
ほぼこのイベントに注力！
1年の中で最も大変で、最も
やりがいがあると定評です

8 / 8

開会行事

鈴木史朗長崎市長にご挨拶いただき、青少年ピースボランティアの開会宣言で開幕。

その後、松尾幸子さん(90歳)の被爆体験講話を聴講しました。



松尾幸子さん(被爆当時11歳)



松尾さんの力強いメッセージに心を打たれたという感想をたくさんいただきました。

R6プログラム

8 / 8 : 午後からのスタート。

Aコース・Bコースにわかれて実施。

午後：開会行事…長崎市長挨拶、被爆体験講話等

Aコース：室内学習

長崎原爆・核兵器についての学習、戦時下の疑似体験、こちんまりフィールドワーク

Bコース：フィールドワーク(コース別)

平和公園／浦上天主堂／山王神社の3コース

終了後(夜)：交流会 (希望自治体のみ)

Bコース

平和公園コースと浦上天主堂コース、山王神社コースの3つにわかれてフィールドワークを行います。ガイドはもちろんピースボランティアが務めます。

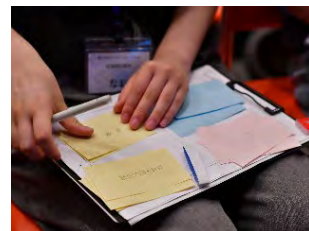


Aコース

室内での学習に加え、会場近くを歩く“こちんまり”フィールドワークを行いました。



今回のこちんまりフィールドワークは、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館のほか、原爆落下中心地まで足をのばしました。



室内学習では、原爆や核兵器についての説明のほか、照明や音・写真・ワークを組み合わせた「戦時下の疑似体験」を実施しました。

交流会

1日目のプログラム終了後、夕食を食べながらの交流会を開催しました。楽しくお喋りしながら情報交換。ピースボランティアの出し物も大盛り上がりでした。



毎年8月9日の平和祈念式典にあわせて全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と、長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学びます。
フォーラムは、8月8日・9日の2日間にわたって開催され、青少年ピースボランティアが参加型平和学習を企画し、当日の進行も担います。昨年度は台風のため中止となった2日目の意見交換会も復活し、令和元年度以降では最大規模での開催となりました。

8 / 9

意見交換

10人程度のグループにわかれ、地域の枠を越えて「平和」や「戦争」について意見交換を行いました。ピースボランティアは各グループの進行を担いながら、一緒に意見を出し合います。



8 / 9：平和祈念式典や市内中学校の平和集会へ参加したのち、全員集合して実施。

午前：平和祈念式典への参列 または
長崎市内中学校の平和集会への参加

午後：意見交換



↑最後に各自で記入した
行動目標「MY平和宣言」



ピースフォーラム
参加自治体

38 自治体

参加者（引率含まず）

377 人

ピースボランティア

91 人

総勢（引率含む）

592 人

被爆79周年 長崎原爆犠牲者慰霊 平和祈念式典

ピースボランティアは、参列者の方への水やおしぼりの配布を担当しました。



1 / 25(土)・1 / 26(日) Team Study History 企画

福岡・鹿児島研修&バスツアー

福岡までで日帰りする
コースと、知覧まで足
を延ばす1泊コースの
2つを準備しました。

ピースボランティアの自主企画グループ“Team Study History”の発案を基に、長崎県～福岡県～鹿児島県をまたぐ研修を行いました。テーマは「**“軍”から見た戦争**」

2月に予定していた沖縄研修と併せて学ぶことで、戦争の様々な側面を考える機会となるよう、内容を調整しました。長崎と軍の関係や「軍」の中にも様々な立場の人間がいること、特攻隊員として亡くなっていった同年代の若者のこと、様々な情報を通して、参加者それぞれが矛盾と葛藤で頭を悩ませる研修となりました。

物事の経緯はそう単純ではないと認識できたことで、今後さらに学びを深めていく契機になればと思います。

訪問先

長崎県

- ・水上特攻艇「震洋」展示館 特攻殉国の碑
- ・佐世保史料館「セイルタワー」

福岡県

- ・筑前町立大刀洗平和記念館

鹿児島県

- ・知覧特攻平和会館
- ・ホテル館 富屋食堂



知覧特攻平和会館 零式戦闘機展示室

発案者コメント



軍部や軍人から見た戦争という側面から様々なことを考えることができました。戦争が始まると、人を人として扱わず、命が消耗品として扱われる。そうならないよう出来ることを少しずつやっていきたいです。



自分達で企画したことが形となって実現できたことに加え、それがピーボにとって新しい学びになれたことに充実感を感じています。自分達で調べていく中でも知らなかったことに出会い、非常に有意義でした。



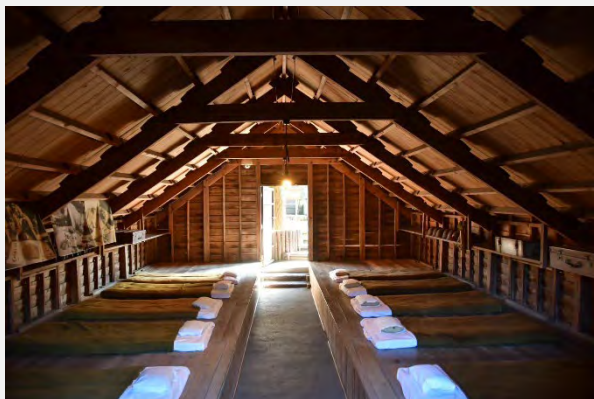
筑前町立大刀洗平和記念館（福岡県）

かつてこの地には旧陸軍の大刀洗飛行場を中心とした軍都が存在していました。飛行場や飛行学校ができたことによる町の発展や航空拠点としての役割、それにより起こった戦争の惨禍などについての展示がなされています。また、戦争末期には特攻隊の中継基地としても機能していました。

知覧特攻平和会館（鹿児島県）

沖縄戦において、特攻作戦で体当たり攻撃をした陸軍特別攻撃隊員の遺品や関係資料が展示されています。かつては大刀洗陸軍飛行学校の知覧分教所として開校し、戦況の悪化に伴い、特攻隊の出撃基地となった場所です。膨大な数の手紙や遺書が保存されています。

右の写真は敷地内に復元されている三角兵舎（特攻隊員の宿舎）。



ホテル館 富屋食堂

特攻隊員の食事等の場として軍の指定食堂となっていた「富屋食堂」。女将の鳥濱トメさんと隊員のかかわりから、現在の資料館には検閲を通っていない特攻隊員の遺書などが多数展示されています。



参加者の声

佐世保、川棚、大村、長崎を結ぶ人や物資の流れが形成され、県全体が軍によって発展したことを知り、軍がなければ発展していなかった可能性がある反面、原爆を落とされなかった可能性もあるのではと戦争の皮肉と矛盾を感じました。

知覧を訪れて、手紙等の検閲について初めて知りました。家族にさえ本音を伝えられないのはどれほど辛いだろうと感じました。

富屋食堂を訪れて、特攻隊員の一人一人にストーリーがあったことがとても心に残りました。



水上特攻艇「震洋」展示館
(川棚町)



特攻殉国の碑
(川棚町)



佐世保史料館『セイルタワー』
(佐世保市)

2 / 22(土)~2 / 24(月・休)

沖縄研修 (2泊3日)



2月に2泊3日で、沖縄研修を行いました。

1月の福岡・鹿児島研修では「軍」から見た戦争をテーマとしましたが、沖縄では、戦前戦後の実態を住民目線で学び、さまざまな視点で戦争・平和を考えるとという意味合いにおいて、非常に有意義な研修となりました。

また、沖縄地方の持つ歴史や文化、現代の世界情勢の中における沖縄の立場を知り、新たに課題意識を持った学生も多かったです。

沖縄研修は隔年で実施していますが、今回はコース選定の段階から沖縄県平和祈念資料館の学芸員でもある大城 航氏にご協力いただき、これまでとは一味違う研修となりました。

訪問先

- ・対馬丸記念館
- ・首里城（第32軍司令部壕、留魂壕）
- ・慶良間チージ
- ・沖縄県立博物館・美術館
- ・南風原文化センター
沖縄陸軍病院南風原壕群20号
- ・ひめゆり平和祈念資料館
- ・平和祈念公園
沖縄県平和祈念資料館



生き残った方の、「なぜ私達は生きてるのか？と思った」という言葉を聞いた時に、すぐ衝撃を受けました。

慶良間チージの説明板を見て、「戦後鬱（PTSD）になった米軍兵士も多かった」と捉えました。沖縄戦での加害者・被害者とは？被害者の存在は1つだけなのか？固定化された被害者の視点だけで戦争史は語れるのか？新たな気づきを得ることができました。

ひめゆり平和祈念資料館（糸満市）

参加者の声

ひめゆり平和祈念資料館で同年代の方が最前線で活動した様子を知り、言葉に表せない気持ちで胸が締め付けられました。特に、体験記が生々しくて、想像すると本当に怖くなりました。友達を置いていった話、一緒にいた人が波に呑み込まれた話、道端に多くの死体が転がっていた話…

そして、その部屋にあったガマの再現を見ました。もちろん今は爆弾や銃の音が聞こえたり、火炎放射されることはないけど、ずっと出口の穴を見ているとなんだか爆弾を投げ込まれそうな気がして、早くそこを離れたくなりました。



第32軍司令部壕
(那覇市 首里城)



留魂壕
(那覇市 首里城)



平和祈念公園
(糸満市)



沖縄県平和祈念資料館
(糸満市)

事前研修では、大城航氏に国際通り周辺の歴史も教えていただき、現地で戦後復興の過程を体感することができました。また、普段と違う見学ポイントを盛り込み、新しい発見もありました。



対馬丸記念館提供

対馬丸記念館

1944年8月、多くの学童を乗せ長崎に向けて出航した「対馬丸」。航海中に米軍の潜水艦によって撃沈されました。この歴史と生存者の証言などに加え、戦時中の生活や教育についても展示されています。

南風原文化センター

沖縄陸軍病院南風原壕群20号

南風原文化センターでは、沖縄戦、特に南風原陸軍病院壕についての資料が数多く展示されています。

沖縄戦の際、南風原には日本軍の野戦病院が作られました。ひめゆり学徒らも過酷な状況下で医療活動を補助しました。また、司令部が南部撤退を決定したのち、連れていけない重症患者には自決の強要が行われました。



沖縄県立博物館・美術館（那覇市）

「琉球民族」という民族はいるのか？というテーマをもって展示を見学しました。「民族」という側面から沖縄を見つめなおす機会となりました。

慶良間チージ（那覇市）

首里城近くの丘陵に築かれた旧日本軍の陣地で、第32軍司令部が置かれていた首里防衛の要でした。1945年5月には1週間の激戦が繰り広げられ、日本軍・学徒隊・住民を含め多数の死傷者を出しました。米軍も死傷者2,662人と1,289人の“極度の精神疲労者”を出したと言われています。

沖縄県立博物館・美術館や慶良間チージの辺りは、長らく米軍に接収されており、返還後に新都心として再開された土地です。



令和6年度 活動実績 （学習会、関連イベントへの参加など） 一部活動を除く。

活動場所は主に長崎原爆資料館および平和会館の会場を使用しています。
また、座学については全てオンライン併用で実施しました。

	実施日	活動内容	参加人数
1	4/1(月)	長崎大学ちょいボラ祭での広報活動	5人
2	4/14(日)	新年度オリエンテーション準備	8人
3	4/23(火)	長崎純心大学フレッシュマンフェスタでの広報活動	3人
4	4/27(土)	オリエンテーション（午前の部）	30人
5		オリエンテーション（午後の部）	44人
6	5/18(土)	被爆体験講話・原爆資料館見学	38人
7	5/25(土)	被爆遺構等フィールドワーク【平和公園/浦上天主堂/山王神社 各コースごと】	36人
8	6/8(土)	上映会 被爆者証言映像「8月9日の記憶」	10人
9	6/9(日)	青少年ピースフォーラム準備①	47人
10	6/23(日)	青少年ピースフォーラム準備②	29人
11	7/6(土)	青少年ピースフォーラム準備③	40人
12	7/8(月)	桜馬場中学校 出前講座	4人
13	7/20(土)	青少年ピースフォーラム準備④	42人
14	7/28(日)	青少年ピースフォーラム準備⑤	39人
15	7/29(月)	フォーラムに向けた自主練習	3人
16	7/31(水)	自主練習	8人
17	8/1(木)	自主練習	8人
18	8/2(金)	自主練習	8人
19	8/3(土)	自主練習	9人
20	8/4(日)	自主練習	9人
21		青少年ピースフォーラム準備⑥	43人
22	8/5(月)	自主練習	2人
23	8/6(火)	自主練習	3人
24		青少年ピースフォーラム リハーサル①	36人
25	8/7(水)	自主練習	8人
26		青少年ピースフォーラム リハーサル②	63人
27		「ピースアクションinナガサキ」被爆遺構等ガイド	14人
28	8/8(木)	青少年ピースフォーラム1日目【平和会館ホール、平和公園ほか】	84人
29	8/9(金)	長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 ボランティア	20人
30		青少年ピースフォーラム2日目【出島メッセ長崎】	85人

	実施日	活動内容	参加人数
31	8/22(木)	平和学習発表会リハーサル	4人
32	8/23(金)	平和学習発表会	10人
33		広島・長崎子ども会親善交歓会 出前講座【日吉自然の家】	8人
34	9/9(月)	長崎県立長崎特別支援学校 出前講座	5人
35	9/14(土)	フォーラム振り返り・後期オリエンテーション	18人
36	10/3(木)	広島×北九州×長崎 交流会準備・打ち合わせ	5人
37	10/13(日)	広島×北九州×長崎 交流会	26人
38	10/19(土)	外国人による日本語弁論大会 ボランティア	3人
39	10/20(日)	被爆樹木 学習会	18人
40	10/21(月)	出前講座打ち合わせ	1人
-	10/26(土)	市民大行進 ボランティア (雨天のため中止)	0人
41	11/16(土)	講義：長崎原爆の概要	10人
42	12/5(木)	土井首中学校 出前講座	4人
43	12/14(土)	長崎・市民平和熟議	11人
44	12/22(日)	講義：核兵器・国際社会の動き	14人
45	1/11(土)	福岡・鹿児島研修 事前学習	19人
46	1/25(土)	長崎・福岡バスツアー（日帰りコース）【川棚町・佐世保市・大刀洗町】	8人
47	1/25(土)～26(日)	福岡・鹿児島研修（1泊コース）【川棚町・佐世保市・大刀洗町・鹿児島県】	14人
48	2/2(日)	沖縄研修 事前学習	14人
49	2/7(金)	沖縄研修 事前学習	4人
50	2/22(土)～24(月)	沖縄研修（2泊）【沖縄県】	10人
51	3/9(日)	市民対象碑めぐり【長崎大学医学部ほか】	11人
52		1年の振り返り・新年度についての打ち合わせ	14人
53	3/22(土)	県外研修報告会（国際青年平和交流事業 報告会と合同）	20人

活動件数 計：53件 令和6年度 活動参加人数（延べ）：1,029人



Peace Volunteer
Since 2002



(公財)長崎平和推進協会

Instagram



YouTube



ピースボランティア
WEBページ



令和6年度

青少年ピースボランティア育成事業 報告書

お問い合わせ

(公財) 長崎平和推進協会

所在地

〒852-8117
長崎市平野町7番8号

電話番号

095-844-9922

FAX番号

095-844-9961

Eメール

keishou@peace-wing-n.or.jp